No. 121





日文社

ステリ



品文社学学 10 共変な化り紹の見マリランカのアーユルウェーダの 高橋 独伊月の輪製林 それからの 延養書設了頭片関の正体の 老野枝 PRAW COMMUNICATION & 小野は神世アアメリカン・コミックス大全日 200 ベルクアコーランの新しい読み方面 太田和彦『ひとりで、居酒屋へ当(仮) 歴明のなどが町の『どうしてかわれる?』 伝込 古哲ラリーム" 日早あちままひねろう!カレータ 植學第二7/700月、1017 @ 图形 (世元学報) (平成

に満ちたシャック・リッチー 個作課!

野村古城、大学スステア老人ホームに考えがでいていくよ 7中沢到子『ラッコの帽子』(個) 千葉吹夫『続・現代集(新使験史』(個) 山本ムーグ『時間 フルシュマズとをの時代』

世界のなどかけをはる 『かっとかかったと!!の

表3.1(加藤平洋 G 解) A面イチおで献せた「月の輸費株」け古書店で

あるが店頭販売はしない目録販売専門のお店 である。つまり連販みたいなものであれ、月の輸出 こと高橋徹氏の抗える古書日紀は書名す助 めているだけでは大な読み物の切りを進い内 完せ多くのファンをもつ。その詳細は今号で紹介 LT=新州、既刊、本の雑誌198年3門等で お確めください。と、のっけから電伝ばかりで申し 訳ない。月の軸書林目録は完成に時間を 要するため、目録ファンモ長いこと出来とがりお楽 しみに行っている。小ない新刊も長らくお終た せしたが、あろめく羽はいこぎつけた。見本が上 がったのが10月5日(水)。この夜、個々だが 南地様経験さんがひょっこり常業部にいらっ しゃった。彼も月の鞍書林目録と前着の絶大 な支持者である。久しがりに小社を訪ねたちの 日かく民然で月の報告林をかから」の見本日 であったことに南陀神さんも繁まる

おお!ついに出ましたか、と奏んではる を刊なとコンピュータ きゃくトランスアート) 編集 目録はこついての手作りミニコミ紙をご夫妻ご発行する。香寒行の中、ぼうんと菊正常の名入り着板が見え 海林モクローくんニ本人。「本とかどより読がす2 る。この行に今も残るのが不思議な、古いHo 期更結しなり ちの動き離れ 現在は干代田で内の 出版社会社に編集して勤務部。同じ職場の著く 天気な管室日さんを得って飲みてくかたのだった。古事 目翻に言れい新陀律さんにとっても月の輪者林は 時別な存在。他業種から今年初めに出版名像量と して入ったHさんに「月の輪書林さんというのはね…」 付売作『精運東京の居満屋』(草思社)にも とまんに魅めって解説にてくれる。日社の一人営業として 奮闘中のHさんに引き合わせるのが用作ではあったが 堅い金融機関で仕事をしてきた彼女は時折、出版 業の周辺だけで優いていた者からすると、なかなか 受い ぐゅつミをするので、南陀様さん共々 そうだめ 百2本町でおので書店さまはお忘れなく! え、いろいろあるよねえ、とモコモゴ、これではお彼あ、脚陀様さんのデナンダのウアヤシゲ に立ちません。雑然としたなける業界のはなす き硬ラだけでは中し訳ないので河岸を変える。

■ 小紅から科学原に向かて蘇橋が かめる線路伝いに歩き、巨大なオノデンはうや にこの6月まで採わり、ライター、編集者、趣味人形の張りついたどしの、七年の通りを進み、石丸 ▲人として多れな日々を達り、世界初の古書電気本店を過ぎた失で左に折れると、ギラギラ 清重な住い。小社の二年がではちゃと自慢で するこの音音なお店の名は(赤津加) おいく て安い酒肴と物ち着いた栗園気の居酒屋がお 切るな方、ご案内いたします。居酒屋に関する 落撃も多いデザイナー、太田和彦さんの初期の 紹介されたお店、2時間弱様升後いして一人 ●3000円もしないがを終いが10時半とかり早り、 ここでまたも自社遺伝!太田和養氏の最新刊 アンとりで、居酒屋へ、水(の)分月末刊行です。 お申込み 内毒物 な日々』(短明女出版)も本好きは 火兢! 今回は宣伝(Will 性ったなみ)

【大曹·常春邦 高橋干代】